

2.20. 認知支援システム学講座

2.20.1. 認知支援システム学講座の概要

(a) 講座の簡単な説明, キーワード

現在当講座では、基幹的なプロジェクト「物語生成システム」の遂行を大きな研究テーマとして設定している。

「物語 (Narrative)」には、ストーリー・言説 (語り方)・登場人物・世界状況・表現 (言葉, 映像, 音楽等) など様々な側面があり, それらが複雑・微妙に絡み合うことで「物語」の全体を構成している。物語生成システムとは, 人工知能を初めとする先端的なソフトウェア技術を利用し, 物語の技法や知識の整理, 物語テキストの生成・編集などを行うシステムを意味する。物語論はもともと人文科学, 記号論や構造主義等の哲学・思想から派生したそれ自体大きな学問領域であったが, 近年では, 人工知能や認知科学におけるプランニング, 知識表現, スキーマ等の研究と結び付いて行われて来た物語理解や物語生成の研究と結び付いて, 発想支援, 創造性, ヒューマンインタフェース等を巡る学際的な研究分野として世界各地で研究・開発が活発化している。

本研究室では, このような大きなテーマを掲げて研究活動を行っている。あわせて, オントロジー, セマンティック Web, 情報検索, パターン認識, 画像処理, ソフトコンピューティング・ニューラルネットワーク等の研究も行っている。

キーワード: 物語生成システム, 人工知能, 認知科学, パターン認識, ソフトコンピューティング, オントロジー, 自然言語処理, 自然言語生成, 人文科学, 文学理論, 映像表現, 音楽表現, 言語表現, 物語内容, 物語言説, 学際的アプローチ

(b) 年度目標

- 過半数の学生との共同学会発表
- 上記プロジェクト, その他に関連する教員の論文の刊行
- 卒業希望の大部分の学生の就職内定, 進路先確定

(c) 講座構成教員名

小方 孝, Basabi Chakraborty, David Ramamonjisoa

(d) 研究テーマ

- 物語生成システム, 人工知能, 認知科学, 自然言語処理, メディア工学, 物語論
- 神経回路網, 遺伝的アルゴリズムおよびファジー理論を用いた方法によるパターン認識・認識問題の応用に関する研究

(e) 在籍学生数

博士(後期): 1名, 博士(前期): 5名, 卒研生: 8名, 研究生: 0名